

事業群評価調書(令和2年度実施)

基本戦略名	9 快適で安全・安心な暮らしをつくる	事業群主所属	教育庁総務課
施策名	(1) しまや過疎地域等の活性化と持続可能な社会の基盤づくり	課(室)長名	桑宮 直彦
事業群名	しまや過疎地域の教育の活性化に向けて、地域と協働した県立学校の魅力化	事業群関係課(室)	高校教育課

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文) 少子化等により規模が小さくなったしまや過疎地域の高等学校については、学校の機能と教育水準の維持を図りながら、地域と協働して魅力ある学校づくりに取り組めます。						(取組項目)) 離島留学等を活用した魅力ある学校づくりの推進				
事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 令和元年度は、県教育委員会の「魅力ある学校づくり研究指定校」に5校を指定し、高校の魅力化に向けた取組を進めた。また、2校において、離島留学制度推進委員会を開催し、地域との連携を図り、離島留学制度を円滑に運営していくための協議を行った。
	しまや過疎地域の地元地域と協働した取組の実施件数(累計)	目標値	/	1件	2件	3件	4件	6件	6件(R2)	
		実績値	0件(H26)	2件	5件	7件	7件	/	進捗状況	
		達成率	/	200%	250%	233%	175%	/	達成	

2. 令和元年度取組実績(令和2年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要 令和元年度事業の実施状況 (令和2年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和元年度事業の成果等	中核事業	
				H30実績	うち一般財源	人件費(参考)			主な指標	H30目標	H30実績			達成率
				R元実績						R元目標	R元実績			
		R2計画			R2目標									
1	取組項目	高校生の離島留学推進事業	H13-	46,811	39,605	8,769	中学生 高校生	体験入学や宿泊体験への参加者を増やすべく、年度前半の広報活動に力を入れるとともに、在校生が各コースの魅力中学生等に広く発信することで、コースへの関心を喚起するよう努めた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、関係機関への訪問回数が減少した。	活動指標 他県教育委員会への訪問回数+説明会での説明回数(回)	105	106	100%	事業の成果 ・県内外での説明会、教育委員会訪問、宿泊体験等の取組により85名の離島留学生が入学した。昨年度より減少したが、県外からの入学者に大幅な減少はない。 事業群の目標(指標達成)への寄与 ・在校生が主体的に地域と関わるような取組により、地域と協働した魅力ある学校づくりを推進している。	
				39,654	32,904	8,749				105	/	90%		
				59,952	43,769	8,773				110	110	100%		
				根拠法令	成果指標 離島留学制度による留学生数(入学者選抜における合格者数)(人)	110	85	77%						
		高校教育課							110	/				

3.実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

離島留学等を活用した魅力ある学校づくりの推進	
<p>実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>説明会や教育委員会訪問等の広報活動や、宿泊体験等の各校の取組の充実により、令和2年度の入学者数は昨年度より少ない85名であったが、県外からの入学者に大幅な減少はなく、過去2番目に多い入学者数である。今後も入学者数を継続的に確保していくためには、県外からの入学者を増やすための取組を行う必要がある。</p> <p>また、離島留學生が安心して生活できる受入体制の構築や里親の維持・開拓等を行う「離島留学広報業務・離島留學生支援業務員」を対馬と五島に配置しており、年間1,599回の相談・支援活動を行う等、離島留學生や保護者、里親との信頼関係の構築に貢献していることから、現在、未配置の沓岐についても検討を行う必要がある。</p>	<p>課題解決に向けた方向性</p> <p>県外からの入学者を増やすため、留學生世帯の経済的な負担を軽減する取組を行い、県外の高校進学希望者に対して、本県のしま地区の魅力とともに、本県離島留学の大きなアピールポイントとする。</p> <p>離島留學生の受入体制の構築や里親の維持・開拓等のため、沓岐高校への「離島留学広報業務・離島留學生支援業務員」の配置を検討する。</p>

4.令和2年度見直し内容及び令和3年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名	令和2年度事業の実施にあたり見直した内容	令和3年度事業の実施に向けた方向性		
		所管課(室)名	(令和2年度の新たな取組は「R2新規」等と記載、見直しが無い場合は「-」と記載)	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
1	取組項目	高校生の離島留学推進事業 高校教育課	離島留学制度をより一層推進し、県外からの入学者を増加させることで離島地域の振興と活性化を図るため、離島留學生が親元等に帰省する際の交通費の補助を行う。		令和3年度においては、離島留學生が安心して生活できるような受入体制の構築や里親の維持・開拓等のため、沓岐高校への「離島留学広報業務・離島留學生支援業務員」の配置を検討する。また、すべての実施校において安定した生徒募集が可能になるような体制づくり、里親の維持・開拓等を進めるとともに、引き続き、島外からの入学者増加のための広報活動等、必要な取組を検討していく。	拡充

注:「2.令和元年度取組実績」に記載している事業のうち、令和元年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

<p>【事業構築の視点】</p> <p>視点 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。</p> <p>視点 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。</p> <p>視点 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。</p> <p>視点 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができていないか。</p> <p>視点 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。</p> <p>視点 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。</p> <p>視点 戦略的に関係者の行動を引き出せていないか。</p> <p>視点 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要があるか。</p> <p>視点 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。</p> <p>その他の視点</p>
--